

コロナ禍における事業報告 及び 新たな (with コロナ) 中期事業計画

コロナ禍における対応が求められた2020年度においては、活動の基本方針と新・中期事業計画を定め、感染症対策を徹底の上、以下の活動を試行しました。キャンプ事業としては、同居する1家族を対象とし、宿泊、日帰りあわせて計15回のキャンプを開催しました。

基本方針

- ・国際的な議論によりバージョンアップした医療ケア付キャンプ場の感染症対策を遵守し、活動を行う。
- ・宿泊・食事を伴うキャンプなど制限・縮小していた既存の活動を、徐々に元へ戻し、さらに発展させる。
- ・コロナ禍の状況において、検討・試行した新規の活動について、本格的に活動を開始する。

活動① (継続)

難病とたたかう子どもとその家族を、全国各地から招待してキャンプを実施する。

：感染症対策を徹底しながら、年間実施回数、各キャンプの参加人数を徐々に元に戻し、そして増やしていく。

「実施をするキャンプの種類」

- 主治医が同行するレスパイトキャンプ (3泊4日)
- セラピー馬アクティビティ中心の日帰りデイキャンプ (ファミリーキャンプ)



家族で見晴らしの丘へ登山



車いすユーザーのセラピー乗馬



車いすユーザーのチェアスキー

活動② (継続)

キャンプが安全に運営できるようソフト・ハード面でサポート体制を充実させる。

「ソフト面での対応/人的サポート」

- 感染症対策を徹底し、企業・団体のボランティア活動の受け入れを開始する。

「ハード面での対応/施設・設備のサポート」

- 既存施設の修繕・改修や、森の維持管理を行うとともに、開放的な半屋外施設 (クラフト棟や球技場) 他、キャンププログラムを更に充実させるための施設整備等を行う。



吊り橋付ツリーハウスの定期改修



団体ボランティアによる維持管理作業

活動③ (新規)

リネン洗濯等を、福祉就労団体へ積極的に業務委託する。

- リネン洗濯や施設清掃等の作業を、福祉就労団体へ積極的に業務委託することで、地元に住む福祉対象者の仕事を生み出すことにつなげる。

活動④ (新規)

難病の子どもたちが過ごす、全国各地の病院 (病室) や自宅に「楽しみ」を届ける。

「スノーギフトを贈る」

- 雪の積もらない地域にある病院等へ、キャンプ場に積もった雪を専用のスノーボックスに詰め、冷凍空輸で贈る。

「VR映像の上映会を開催する」 ※VR (Virtual Reality) とは疑似体験できる映像技術のこと

- 全国の小児病院等において、キャンプ場で撮影した夏・冬の自然体験 VR 映像の上映会を実施する。

「キャンプ用品を贈る」

- 全国各地の難病の子どもたちに、キャンプ用品をプレゼントし、闘病生活において安全にキャンプの雰囲気を楽しんでもらう。



小児病院内で雪だるま作り



制作した馬車操縦のVR映像



自宅近くの公園でキャンプ

活動⑤ (継続)

難病の子どもと家族の現状や、キャンプでの支援の必要性を、広く社会に発信する。

「広報PR イベントの実施」

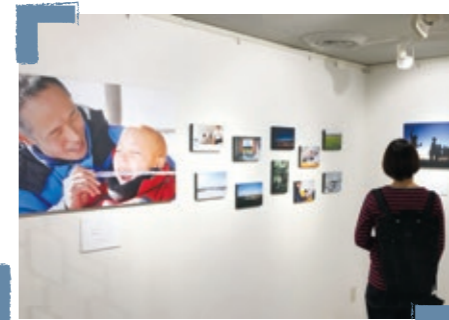
- キャンプ場一般公開イベント (5月、10月)、大都市部 (東京、大阪、札幌他) での写真展を開催する。

「インターネットによる広報活動」

- ホームページ、Facebook、YouTube、Instagram 他での情報発信を強化するとともに、バーチャルとリアルを効果的に融合させ、VR映像での施設案内や、チャリティオークション等を実施する。



一般公開でのキャンプ場内見学



キャンプの様子を伝える写真展



YouTubeでのVR施設案内

活動⑥ (新規)

元キャンパーや難病児支援に関心のある大学生に就労機会 (インターン) を提供する。

- 免疫が低いことなどで、行動に制限がある元キャンパーに対し、積極的にキャンプ場でインターンとして受け入れ、就労体験の機会を提供する。

また、難病児支援の分野を人材の面でも発展させるため、この分野に関心のある大学生を積極的にキャンプ場でインターンとして雇用する。



2021年度より元キャンパーが就労チャレンジ